

学生支援

学生相談室

学生相談室は、学生一人ひとりが抱えているさまざまな悩みや問題が、より良い方向に向かうよう一緒に考える場所です。

大学生活で直面する悩みや相談の内容によって、教職員や精神科医、心理カウンセラー、弁護士が対応します。各種セミナーやグループワークなども実施しています。

障害等のある学生への支援

身体障害・慢性身体疾患によって、学修や学生生活に支援を必要とする皆さんへのサポートを、全学の取り組みとして進めています。学修面の相談から、キャンパス環境の相談まで、個々の学生にとって障壁となっていることについて解決・解消にむけて可能な限り対応していきます。

多様な背景や属性を持つ学生への支援

ダイバーシティセンターにグローバル領域（多文化共生・多様なルーツに関すること）、ジェンダー・セクシュアリティ領域、障害領域（身体障害・慢性身体疾患に関すること）を専門とするコーディネーターが在籍し、多様な背景や属性を持つ学生が安心・安全に学生生活を送れるようサポートしています。個別相談・個別支援（通称名使用のサポート含む）のほか、不要な性別欄の削除、多機能トイレの拡充など、環境面の整備にも取り組んでいます。

ライティング・ラボ

アカデミック・サポートセンターが運営する「ライティング・ラボ」では、授業のレポートやプレゼンテーション資料、論文などあらゆる学術的文章を支援の対象とし、アウトラインの検討から完成に至るまで、文章作成の段階に応じた支援を行っています。アカデミック・ライティング指導の訓練を受けた大学院生チューターが、論理的で分かりやすく、読み手に意図が伝わる文章となるよう、書き手と一緒に文章を検討していきます。学生が自立した書き手となれるように支援することをミッションとしています。



保健センター

保健センターは、多摩・後楽園・市ヶ谷田町・茗荷谷の4キャンパスにあり、学生・教職員の「健康管理」と「診療」を行っています。

学生の健康管理としては、学校保健安全法に則り、毎年4月上旬に「定期健康診断」を実施し、健康診断事後措置として二次検診を行っています。診療では、学内で体調が悪くなった時などに医師の診察と薬の処方が受けられます。また、保健師・看護師が常駐し、さまざまな健康上の相談を受け付けています。

保健センターは、学生の皆さんが健康な身体で充実した学生生活を過ごせるように、サポートしています。

HAKUMON Chuo

中大生が作る中大生のための大学広報誌「HAKUMON Chuo」。1987年から在学向けに発行している冊子で、2020年からはWeb版での記事配信も始まりました。

学生記者が取材・執筆した原稿を、新聞記者出身の編集長が校正し、誌面を制作しています。

さまざまな分野で活躍・活動する学生を記事で紹介し、大学の建学の精神「實地應用ノ素ヲ養フ」や、ユニバーシティメッセージ「行動する知性。」を学生の間に広く喚起するような読み応えのある内容を目指しています。



▲詳細はこちらから



大学生協

大学生協は、組合員（学生・教職員）の大学生活がより豊かで快適なものとなるよう、組合員の出資金により運営されています。

多摩キャンパスの店舗では、学生食堂をはじめ、書籍、文具、パソコンなどの日用品はもちろん、国内・海外旅行や各種チケット、教習所申込、共済保険など、多岐にわたったサービスを提供しています。後楽園キャンパス店では学生食堂、生活用品の他に白衣、保護メガネ、製図用紙など理系ならではの商品も扱っています。また、法学部移転に伴い、茗荷谷キャンパス店を開設し、市ヶ谷田町キャンパス店とともに都心キャンパスの学生生活を支えています。

災害時用物資の備蓄

本学では、災害発生時の迅速な対応を可能にするため、必要な物資を備蓄しています。

具体的には、約3日分の水および食料品に加え、簡易トイレ、アルミブランケット、フリース毛布、マット等を備えています。

これらの物資は、「東京都帰宅困難者対策条例」を基に、適切な数量を確保しており、災害発生時において迅速かつ効果的な対応ができる体制を整えています。

